

## 【認定校だより】

東洋大学 理工学部 建築学科

東洋大学理工学部は川越キャンパス（埼玉県川越市）にあり、建築学科の教育目標と概要は次のとおりです。

### ■教育目標

建築やまちに関わり、デザインする楽しさ・つくる喜びを学ぶと同時に、役割と責任を実感。将来役立つ実践的な知識や考え方、そして社会の要請に応えるためのマネジメント力を兼ね備えた人間を育成します。

### ■概要

幅広い分野の知識と経験を学ぶ「建築学科」では、「計画・意匠」「構造・材料」「環境・設備」「生産・マネジメント」「まちづくり」の5つの専攻分野を準備し、4年間一貫して建築学の総合的講義および演習科目として「建築設計製図」を学びます。建築学は、構造や環境にかかわる工学的な知識の習得を必要とするとともに、「人間の生活と密接に関わる学問」として、人間や社会に対して常に関心を持つことが必要です。住む人が心地よい空間を作るにはどのようにすればよいのかを「建築・まち」の側面からトータルに実学できるよう、地域の歴史や文化にまで踏み込んだ幅広いカリキュラムを実施し、芸術的感性と工学的理性を養成します。



建築積算士補試験の対象としている授業は、2年生を中心とした春学期（4月～8月）の「建築構法設計演習」です。この授業は建築構法と建築設計の中間領域において設計図書を読解する力を身につけることを目的としています。

授業では建築積算を通じて、建築生産活動の成り立ちを理解し、各プロセスにおける建築コストの重要性を学んでいます。実際に図面を見ながら積算をおこなうことで設計図書の読解力を深め、建築数量の算出、値入まで行った上で内訳書をまとめることによって、建築コストの構成を

理解することができます。

授業のタイトルにもある通り、講義は演習を中心としており、講義を聞いて理解した内容を実際に自分で手を動かして問題を解くことで、より一層の理解を深めることを目的としています。

授業の後半では概算やLCC、マネジメントについても講義を行っており今後社会に出た際にも活躍の場を上げられるよう授業をおこなっています。



東洋大学 理工学部 建築学科（入学定員146名）

授業名 建築構法設計演習（2年生の選択科目）

担当講師 浦江 真人（専任）、佐藤 史和（久米設計）

試験開始 2013年度

建築学科HP <https://www.toyo.ac.jp/academics/faculty/sce/darc/>

大学HP <https://www.toyo.ac.jp/>